試　掘　調　査

西尾地区

国道23号バイパス線予定地内の安藤川と家武町地内に挟まれた地域で、岡島遺跡の範囲外について遺跡の存在及び範囲確認を行った。

江原遺跡・岡島Ｂ遺跡（T.T.１～９）

表土中より平安時代～鎌倉時代の遺物細片を若干見たのみで、遺構の存在は確認できなかった。

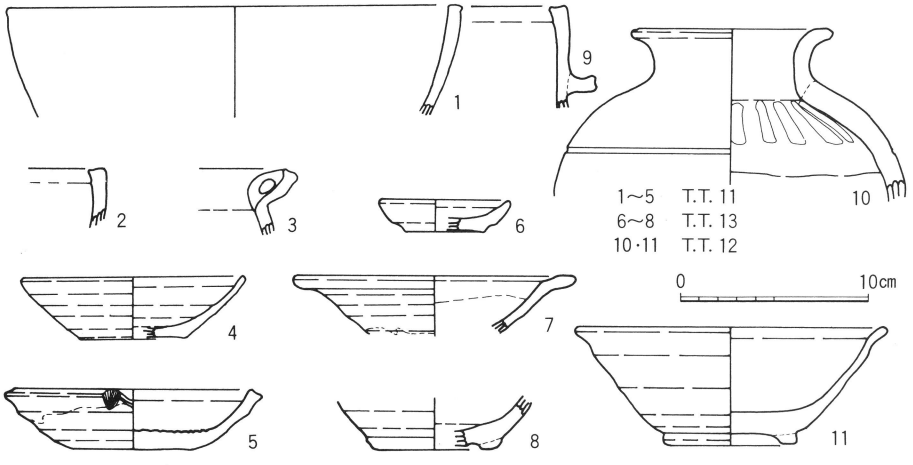
室遺跡（T.T.10～16）

沖積低地の微高地上において包含層の存在を確認。溝・土坑などの遺構も検出した他、平安時代末期～室町時代の遺物を多量に見ることができた。１～３・９は土師器鍋・釜類。４・６はロクロ成形の土師器皿。５・７は施釉陶器で、８・11・12は灰釉系陶器、10は三脇壺である。なお、室遺跡南方には『室城』が存在し、年代的一致から関連が注目される。

（池本正明）



第１図　試掘地点



第２図　室遺跡出土遺物